

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 岐阜未来遺産プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光国際政策課 サステイナブル・ツーリズム推進室 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,884 千円 (前年度予算額：13,000 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,000	6,115	0	0	0	0	0	0	6,885
要求額	6,884	2,751	0	0	0	0	0	0	4,133
決定額	6,884	2,751	0	0	0	0	0	0	4,133

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から選ばれる destinations (旅先) となるためには、サステイナブル・ツーリズムの推進が不可欠である。

そのため、サステイナブル・ツーリズムの国際指標を取り入れた本県独自の認定基準に基づき、本県の持続可能な観光の先進的取組であり、将来的に世界からの誘客が期待できる地域・観光プログラムを「NEXT GIFU HERITAGE ～岐阜未来遺産～」(以下、「岐阜未来遺産」とする。)として認定し、国内外にその魅力を発信することで、誘客促進及び観光消費額の拡大を図る。

令和5年6月に、「飛騨小坂～自然のめぐみを体験、滝めぐり、湯めぐり～」(下呂市)、「恵那岩村の山城・城下町と農村景観めぐり」(恵那市)の2件を初の「岐阜未来遺産」として認定。

(2) 事業内容

- ①PRツール制作 (3,585千円)
- ②PRツールを活用したプロモーション (1,684千円)
- ③「岐阜未来遺産」認定委員会開催 (1,615千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	630	認定委員謝金
旅費	751	認定委員費用弁償、職員旅費
印刷製本費	121	P R 冊子増刷
委託料	5,382	P R ツール制作 等
合計	6,884	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
- 岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト<サステイナブル・ツーリズムの推進>
 - (1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自の事業である

(3) 後年度の財政負担

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、今後も継続する

(4) 事業主体及びその妥当性

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

サステイナブル・ツーリズムの国際指標を取り入れた本県独自の認定基準により、本県の持続可能な観光の先進的取組みであり、世界から選ばれる destinations（旅先）となることが期待できる地域・観光プログラムを「岐阜未来遺産」として認定し、その魅力を国内外に発信することで、誘客促進及び観光消費額拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から選ばれるデスティネーション(旅先)となるためには、サステイナブル・ツーリズムの観点による地域の取組を支援することが不可欠。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>認定委員会(有識者)による現地調査や、新たな認定プログラム選定に係る協議など、本県のサステイナブル・ツーリズム推進に向け着実に事業を進められている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>随時、認定委員と協議しながら事業を進めるとともに、認定委員の意見を地域へフィードバックし、地域課題の解消に役立てている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 持続可能な観光植域づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、本県のサステイナブル・ツーリズムの核として事業を展開する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	